

おかちまち たいとう

台東区立御徒町台東中学校 学校だより 第1号

令和6年4月12日(金)

校長 福沢 俊之

TEL 03 (3831) 3787

学校ホームページ



<https://www.taito.ed.jp/swas/index.php?id=1320111>

↑更新中



令和6年度の始まりにあたって

校長 福沢俊之

今週8日に始業式、9日に入学式を行い、いよいよ令和6年度が始まりました。今年度は、1年生 123名、2年生 106名、3年生 88名、計317名でのスタートになります。始業式、入学式で生徒にお話したことの概要をお知らせします。

新年度を迎えた生徒のみなさんは、新しい学年での目標を立てたことと思います。「目標」と同じような言葉に「目的」という言葉があります。目的と目標は「目指すもの」という意味では似ていますが、目的とは「成し遂げようと目指す事柄」を意味するのに対して、目標は「目的を達成するために設けた、めあて」（いずれも、広辞苑）ということです。例えば「体力をつける」ことが目的ならば、「毎日1時間のランニングをする」が目標となるでしょう。

本校の教育目標は、「健全な心と体を備え、自主性、社会性に富み、二十一世紀の社会に貢献できる人を育成する」とした上で、「考えて行動できる人」「思いやりのあるやさしい人」「たくましく生きる人」の三本の柱を掲げています。「考えて行動できる人」になるために、知識、技能を身につけるとともに「なぜ」「どうして」「どのように」など、考えることを大切にしてください。「思いやりのあるやさしい人」になるために、人とのかかわりを大切にすること、その一つが「あいさつ」です。相手の目を見て笑顔であいさつをすることで、お互いに認め合えるよい関係を築ききっかけになることでしょう。「たくましく生きる人」になるために、「早寝、早起き、朝ご飯」といわれるようなよい習慣を身につけましょう。また、辛いときや困ったとき、周りに相談したり頼ったりすることも「たくましく生きる」ことになると考えます。

では、中学校で学ぶ目的とは何でしょうか。私は、社会に出て自分に合った「役割」を担えるようになる(する)ことであると思っています。その一つが職業であり、自分に合った職業を選ぶためにも中学校では、職業調べをしたり職業体験をしたり、自分自身を振り返ったりする機会を設けています。4月は多くの若者が入社式を迎えますが、これからその「役割」を担っていかようとしている若者に求められることには、中学生にも意識してほしいことがあります。自動車メーカーの「マツダ」は、日本だけでなく海外にも工場を持ち多くの車を輸出している企業です。その「マツダ」の入社式で社長は、冒頭、新入社員に向けて「学生生活を通じ、勉学に励み、集団生活の中で社会性を身に付け、倫理観を養い、そして成長をされ、社会へ出る準備をされてきたことと思います。」と話しました。学生生活を通じておこなう「社会へ出る準備」、その一つとして本校では「あいさつ 礼儀 みだしなみ」の徹底を図っています。「あいさつ」は、「いつでも どこでも 何度でも」をスローガンに、歴代の生徒会とともに私たちも受け継いできた本校の良き伝統です。二年生の職業体験でお世話になるどの事業所でも、「あいさつ」を大切にしているように、社会に出る上での基本です。「礼儀」は、「社会生活の秩序を保つために人が守るべき行動様式」（広辞苑）です。先生と生徒、生徒同士、「親しき仲にも礼儀あり」とも言われるように、さまざまな人と人とのかかわりで大切にする振る舞いの在り方です。「みだしなみ」は、社会に出るにあたって整えることを求められるもので、「相手に不快感を与えない服装やふるまい」のことであり、「清潔感」「機能性」「品位」といった三原則として掲げている会社もあります。標準服を標準服として着こなすこと、教室の授業は標準服、体育は体操着など、TPOに応じた服装を心がけることも大切にしています。生徒のみなさんには、「社会に出て自分に合った役割を担っていく」という学校生活の目的を意識していて過ごしてほしいと思っています。

1年間、生徒にとって「楽しい学校」、生徒・保護者にとって「安心できる学校」、生徒・保護者・地域にとって「誇りにできる学校」を目指して、教育活動を進めてまいります。どうぞよろしく願いいたします。

